



焼き立てピザが美味しい原市カフェは、歌声喫茶にも早変わり

地域活性化の核として

地域密着、身近な話題を体験取材!

まちかど

特派員だより

市の東南部に位置する原市団地には、昔はスーパーがあり、買い物客であふれていたが、現在は、その店はなくなり、あの頃のにぎわいはなくなってしまいました。

しかし、先日、真新しい緑色の日傘とテーブルと椅子、さらには手作りのピザ窯が団地の通路に置かれ、若い男女が忙しく立ち回っている姿が見られました。原市団地に常設された「芝浦工大サテライトラボ上尾(以下、ラボ上尾)」での、月に一度の地域住民の交流を目的とした「原市カフェ」の開店です。ラボ上

尾とは、芝浦工業大学環境システム学科(さいたま市)とUR都市機構とが6年前に立ち上げた、高齢化が進む原市団地と尾山台団地の住人を対象にした「健康まちづくりワークショップ」です。

準備を進める学生のリーダーである同大大学院修士課程2年の山口大貴さんは、「施設という環境が、住民とどのように調和しているか、調和させるかを、私たちは学んでいます。学問的調査は学内でできますが、住民の意識調査は学内ではできません。地域に飛び込み、多くの人と話し合うことが、若者は苦手です。原市カフェはその苦手を意識を解消するためのフィールドです」と語ります。

原市カフェに訪れていた仲良し3人の女性客は、「私たち高齢者は、外出を面倒に思うこともあります。健康面から外の空気に触れることは大切。原市カフェで知らない人とおしゃべりを楽しんでいます」と、焼き立てのピザ

を食べながら話します。

同科を主宰する作山康先生は、「これまでは親子防災教室などで、本学の防災担当を地域と結び付けてきた。これからは、認知症研究室とコラボし、生活行動から認知症を発見するシステムの導入を企画している」と語ります。

また、芝浦工業大学と地域住民との交流を知り、学生と見学に来た、人間総合科学大学(さいたま市)の鈴木芽久美先生は、「私たちの大学でも理学療法士などの育成を行っています。住民とのコミュニケーション方法を養う上で非常に参考になりました」と語ります。

最後に、同カフェに来店した女性は、「ここでは、若い学生さんが話し相手になってくれるので楽しいです。これからも多くの人が団地に来て、活気ある団地になるといいですね」と、うれしそうに語っていました。



原市地区
山口 悟さん

市民の情報交流スポット



おいでください

■チーム上尾・猫の困りごと解決基礎講座

7月7日(日)13:30～、さいたま文学館 定員40人(先着順) 申込 岡井 070-1473-8055 **ひと言!** 問題解決は知ることから。環境問題と共生がキーワード。

■上尾市民吹奏楽団 第46回定期演奏会

7月8日(日)13:30～15:30、文化センター 前売り600円・当日700円(小学生以下・65歳以上無料) 申込 大木 090-1851-8561 **ひと言!** アルメニアダンス全曲演奏します。聴きに来て下さい。

■ザ・ヤングアメリカンズ(歌・ダンス)

7月22日(日)16:30～18:30(開場/16:00) 第1幕/ブロードウェイミュージカルのハイライトシーン他 第2幕/ヤングアメリカンズと子どもたちの共演、文化センター 1,000円 申込 事務局 yua@

jibunmirai.com(当日の問い合わせは文化センターへ) **ひと言!** 見れば絶対元気が出る!子ども～大人が楽しめるショー。

■大人のための英会話・韓国語入門講座

7月31日～9月18日の毎週(火)(全8回)、韓国語/18:00～19:00、英語/19:30～20:30、コミュニティセンター 定員15人(先着順) 6,000円(全8回) 7月25日(水)までに電話で 国際文化交流協会の前田 090-6489-2803(平日10:00～17:00)

ひと言! 見て聞いて話す。外国人講師と楽しく学ぶ。

■鈴虫!無料!差し上げます!

8月5日(日)8:00～10:00、富士見小学校 申込 渡邊 090-2178-0626 **ひと言!** 鈴虫を差し上げます。虫の声をお楽しみください!

いきいきサークル

●上尾失語症アッピー友の会

毎月第1(土)13:00～16:00、市社会福祉協議会ふれあいハウス 患者と家族 年額2,000円 山崎 0781-9380 **ひと言!** 脳卒中や

事故の後遺症で会話や言葉の理解が難しい方。

●ソシアルダンス(社交ダンス) 毎週(水)18:00～21:00、大石公民館 経験者 月額3,000円(入会金1,000円) 百田 0781-6139(20:00まで) **ひと言!** ダンスレッスンで健康と友達作り、親切丁寧に指導。

●グループ彩絵(水彩画) 毎週(金)18:00～21:00、大石公民館 1回100円 岡島 090-6526-5964 **ひと言!** 絵を描くのが大好きな仲間のグループです。初心者歓迎。

●オアシス(創作ケーキ作り) 毎月第3(金)13:00～17:00、平方公民館 月額3,000円 佐藤 0774-6127(22:00まで) **ひと言!** 本格的なケーキを作り家族や友人と楽しいティータイム!!

●みづ絵会 毎月2回(月)9:00～12:00または13:00～17:00、上尾公民館 月額2,000円 小松 0725-8824 **ひと言!** 水彩画を楽しんでいるグループです。初心者歓迎。

カットする
大場さん▶



▼大場さん夫婦と
リニューアルした店



「昔ながらの理容の技術・伝統を大切に、時代のニーズも取り入れた、地元根ざした店をつくりたい」と笑顔で答えてくれたのは、瓦葺にある創業38年の理容室「CUT IN SEVEN」の店主、大場厚史さんです。

大場さんは、2017年に東京都で開催された、理容の技術を競う「第81回国際理容競技全国大会」に出場し、ブロースカット部門で見事優勝を果たしました。「ブロースカットとは角刈りのことで、理容をする上で基本となる技術。この技術の差がさまざまなカットにつながります」と話す大場さん。働きながらの出場で、時間がなかなか取れず、毎日仕事終わりに練習し、時には夜中の2時を過ぎることもあったそうです。大会の審査員は業界でも有名な理容師のため、「1ミリの誤差でも減点につながるの緊張しましたが、とてもいい経験になりました」と笑顔で話します。

スポット ライト

～人・仲間～



おおば
大場

あつし
厚史さん
(瓦葺在住)

SPOT LIGHT
The life of a great person

地元根ざした理容室を目指して

「第81回国際理容競技全国大会 ブロースカット部門」優勝

大場さんは、両親が経営していた店を引き継いで2代目店主となり、ことしの4月に「CUT IN SEVEN」をリニューアルオープンさせました。大場さん夫婦と両親の4人体制で営業していますが、店の外装や内装は大場さん夫婦で考えました。コンセプトは、「誰もが気軽に足を運べ、心も身体も落ち着く、また行きたくなくなる理容室」です。小さい頃から両親の働く姿を見て育った大場さんにとって、「店を引き継ぐことは夢だった。生まれ育った上尾に少しでも貢献したい」と嬉しそうに話します。

経営者となり、施術をするだけでなく店の運営も加わり、苦労も口にする大場さん。今よりもさらに良い店にしていこうために一生懸命に取り組んでいることは、宣伝と新サービスです。「宣伝としては、常連さんや同級生以外にも来てもらうため、ホームページを立ち上げました。また、新サービスとして、他の店との差別化を図るために完全個室を設け、女性でも抵抗なく利用できるようにしました」と真剣な表情で語ります。

昔ながらの伝統を守りつつ、新しいものを取り入れる大場さん。これからも地元で長く愛される理容師として活躍し続けるでしょう。



「クイズ アッピーを探そう！」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は6月号です。

⇒ 広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873 ※内容は一部要約しています。



表紙・今月のイチ面 市オリジナル婚姻届・婚姻届受理証明書を作成

- 県内初の市オリジナル婚姻届受理証明書、すてきですね。第1号の夫婦、表紙の4組の夫婦の皆さんも、とても幸せそうですね。(60代男性)
- オリジナル婚姻届の存在を初めて知りました！かわいいですね。(40代女性)

結婚の記念に、市オリジナルデザインの婚姻届・婚姻届受理証明書をどうぞ利用してみてください。



上尾歴史散歩

- ことしは市制施行60周年の節目ということで、昭和30年代の上尾の様子を紹介しているのですね。毎月の上尾歴史散歩をいつも楽しみにしています。(40代女性)
- 上尾の歴史を知ることができるこのコーナーは興味深く、参考になります。(60代男性)

平成31年3月号までの上尾歴史散歩では、昭和30年代当時の広報誌『上尾自治だより』をもとに、当時の出来事やその背景などを紹介していきます。



『広報あげお』は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。